



2022年12月15日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 マ イ ネ ッ ト
住 所 東 京 都 港 区 北 青 山 二 丁 目 11 番 3 号
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 上 原 仁
(コード番号：3928)

問 い 合 わ せ 先 常 務 執 行 役 員 西 村 拓 也
TEL. 03-6864-4261

減損損失の計上、業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、減損損失の計上、2022年2月14日付「2021年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表した2022年12月期の通期業績予想及び配当予想を修正することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上について

連結子会社である株式会社マイネットゲームズで今期獲得した2タイトル及び2021年9月に株式会社滋賀レイクスターズの株式75%を取得し連結子会社化した際に生じたのれんについて、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収することは困難との結論に至り、2022年12月期第4四半期連結会計期間において、長期前払費用812百万円及びのれん146百万円の減損損失を特別損失として計上する見込みです。また、株式会社滋賀レイクスターズが保有する複数の固定資産についても、減損の兆候が見られることから、最大292百万円を特別損失として計上する可能性があり、現在精査を行っているところです。

なお、当社は、個別決算において子会社株式の減損損失96百万円を特別損失として計上する見込みですが、連結決算上消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

2. 通期業績予想の修正について

(1) 2022年12月期 通期連結業績予想 (2022年1月1日～2022年12月31日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	11,000	200	175	120
今回修正予想 (B)	10,514	△436	△441	△1,610 ～△1,493
増減額 (B-A)	△486	△636	△616	△1,730 ～△1,613

増減率 (%)	95.6%	-	-	-
前期連結業績 (2021年12月期 通期)	10,571	577	546	229

(2) 修正の理由及び今後の方針

主には、上記の減損損失の発生及びファンタジースポーツ事業への投資の加速、これらの要因により、通期連結業績予想を修正いたしました。

業績の早期安定を最優先に実現すべく「GS事業のタイトル獲得モデル見直しによる獲得リスク極小化」「新規事業投資の選択と集中」「全社費用の圧縮」といった施策を迅速に実行してまいります。また、本日公表した「代表取締役の異動（追加選定）及び経営体制に関するお知らせ」にて記載のとおり、取締役 専務執行役員である岩城 農が2023年1月1日付で代表取締役社長に就任し、経営体制の一層の強化も行っております。なお、代表取締役社長である上原 仁は同日付で代表取締役会長に就任いたします。

3. 配当予想の修正について

(1) 期末配当の修正内容

基準日	1株あたり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回発表予想		6円00銭	12円00銭
今回発表予想		0円00銭	6円00銭
当期実績 (2022年12月期)	6円00銭		
前期実績 (2021年12月期)	0円00銭	6円00銭	6円00銭

(2) 修正の理由及び今後の方針

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして認識しており、当社の将来の成長に必要な新規事業開発、研究開発、M&Aなどの先行投資による企業価値の向上を目指しながらも、並行して株主還元として、株主資本配当率（DOE）3%を目安に毎期配当を行うことを基本方針としておりました。しかしながら、上記のような業況から、まずは内部留保の充実を図り、既存事業の基盤整備や第2の収益の柱を創出するための投資に充当していくことが最優先であると判断し、2022年12月期の期末配当を無配へと修正し、2023年12月期以降の配当予想については未定といたします。

以上